

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成27年5月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は6から4に減少。「減少した」業種は7のまま変化なし。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は7から6に減少。「減少した」業種は14から9に減少。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は0から2に増加。「悪化した」業種は13から9に減少。

前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は6のまま変化なし。「減少した」業種は7のまま変化なし。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は11のまま変化なし。「減少した」業種は13から9に減少。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は8から6に減少。「悪化した」業種は13のまま変化なし。

製造業

漬物製造

【県内全域】

円安が進み、原料価格上昇。

豆腐製造

【県内全域】

良い意味でも横ばい状態が続いている。輸入大豆、国産大豆ともに価格がじわじわと上昇し続けている。

酒類製造

【県内全域】

前年比増加もこれは前年4月が消費税引き上げ後の落込みにより低調だったと思われます。

製材

【木更津】

5月南用材1隻入港。ロシア材、米材入港なし。荷動きは悪い。需要の減少が続いている。

印刷

【県内全域】

景況の変化について、5月の県内組合員受注売上は、4月と比較して営業日が少ないにも関わらず若干増加した模様です。各社の昇給状況に加え、夏の賞与に関する増加傾向の報道、更には県内各地でのプレミアム商品券販売開始等、経済活性化策による刺激で新年度に入っても需要が活発に推移し、印刷の需要も若干の増加になっていくようです。

電気鍍金

【県内全域】

大手企業特に自動車産業等の景況は好転してきているが、中小零細企業の景況特に営業利益率は減少している。今後再生可能エネルギー発電賦課金の負担が増加する(5/1より賦課された)製造原価が上昇し収益悪化が懸念される。

非製造業

鉄工

【千葉】

景況の変化について、各社の動向は、受注・売上・収益状況において、特段悪化と言えないまでも、なかなか業況が上放れしない状態が続いていることから、横ばい推移中。直近での急激な円安に対し、警戒する向き多い。

機械部品製造

【柏】

景況の変化は特注による増加。半導体等採装置新製品開発の動きあり。

金属製品製造

【船橋】

昨年度後半より、回復基調にあつたが、5月はやや鈍化傾向である。業界の動きは、売上高が増加基調に推移している。

採石業

【県内全域】

景況の変化について、出荷は増加傾向にあるものの、採掘量が限られるとともに、燃油の高騰傾向は収益の圧迫原因になりかねない。東京湾岸の港湾工事における需要は将来とも見込まれるもの

の、供給が限られており、需要を満たせない状況である。

【土砂採取】

【県内全域】

業界の景況は、前月比では不変が概ね8割程度、悪化が2割程度の状況で、前年同月比では、不変が概ね7割程度、悪化が3割程度の状況。

非製造業

【総合卸売】

【千葉県・東京都】

生活紙類卸に関して、円安が続き、輸入原料価格上昇するも、中国筋の価格との対抗上販売価格への転嫁が難しい状況が続いている。

【食肉卸売】

【千葉市他】

と畜頭数（豚）の減少が続いている。

【建築材料卸売】

【県内全域】

景況の変化について、確実に悪くなっている。新規の引き合いが全くない。外環等契約残を食いつぶしている現状。民需はマンション・戸建とも千葉県全域で低迷している。官需は価格で折り合わず不調続く。消費税とは関係なく需要が低迷傾向顕著。今年度は回復の期待できない。

【自動車解体】

【県内全域】

前月に続き、スクラップ価格

5%から上昇。円安であるものの、中東の政情不安が中古部品取引に影響。業界動向は、引き続き廃車発生量は低調。中古輸出の増加傾向か。

【乾物卸売】

【県内全域】

景況は引き続き低調。5月12日今期最終時点全国生産量対前年比115%、金額131%。千葉県は同生産量117%、同126%。昨年の不作の影響で下物原料が大幅に不足し、下物高が生産数量を助長、各産地とも生産枚数は次第に増加した。

【小売】

【柏】

6月、9月、12月に売出セールを予定。また、プレミアム商品券の実施に伴い、当組合も20店以上参加する予定。

【電気機器小売】

【県内全域】

相変わらず、メーカーも家電部門は大変厳しい、特に今まで良かった白物家電が7、8割の出荷量で、量販に至っては、6割の売り上げで、ヤマダ電機は数十店成績の悪い店を閉店に追い込まれた。我々零細店では、さらに厳しい。地方再生プレミアム券に期待したい。

【青果卸売】

【千葉市】

イベント等が多い時期で注文は

多く入っているが、悪天候のため商品入荷が安定せず、商品を揃えるのが大変な状態が続いている。そのため利益率が低下している。

【小売】

【東金】

景況の変化について、ファッション関連品は、引き続き件数が減少傾向。日用品関連は、動いているが客単価の減少傾向が続いている。食品関係は、追従して値上がり商品があり、飲食店も値上げ傾向。

【小売】

【野田】

景況の変化について、GWの連休から母の日にかけて、セールのイベントなどで客数が増え、活気がみられたが、月後半の売上が伸びなかった。

【小売・サービス】

【柏】

個人消費意欲を全く感じられない。客単価は各業種とも変わらないうが、客数の減少が売上減になっている模様。

【自動車整備】

【柏】

昨年より、幾分好転しているように思えるが、工場の格差がうかがえる。

【遊覧船】

【鴨川】

天候に恵まれ、GW期間中の乗船客増加で、乗船料並びに売店売

上共に増加した。

【一般廃棄物処理】

【千葉】

昨年5月は4月に比べて若干落ち込む月ですが、今回は4月と大差ない月となりました。

【土木建築サービス】

【県内全域】

1～3月期のGDP速報値が年率換算で前期比2.4%と景気の緩やかな回復が続くことを示し、好調な企業業績、改善した雇用情勢（失業率が3%台前半と完全雇用に近く、大学生の就職率が96%とリーマン・ショック前の水準となった）、更には実質賃金（4月）が2年ぶりの上昇を示し、個人消費に追い風が期待されるなど、経済の循環が前向きにとらえられつつある。

【ソフトウェア】

【県内全域】

先月から大きな動きなし。マイナンバー対応の需要。

【建設】

【県内全域】

金額ベースで対前月比50%強の増加ながら、対前年同月比マイナス25%となった。4月、5月とも落札件数が対前年比マイナスで推移。

【輸出入】

【県内全域】

5月の売上は前月比、前年同月比も不変であった。